

令和6年度 第2回学校運営協議会会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第10条第1項に基づき、次の通り学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 中津川工業高等学校 学校運営協議会（第2回）
- 2 開催日時 令和6年11月7日（木） 10:00～12:00
- 3 開催場所 中津川工業高等学校 仰星会館
- 4 参加者

会 長	早川 智晴	本校同窓会長
副会長	西尾 勇人	本校育友会長
委 員	新田 正己	坂本地区民生児童委員長
	柘植富士男	株式会社NSP S S
	尾関里恵子	株式会社デンソーテン 中津川製作所（欠席）
	黒田ところ	中津川市議会議員（欠席）
	佐々木 瞳	三菱電機株式会社 中津川製作所（欠席）
学校側	加藤 昌宏	校 長
	田並 正	教 頭
	西尾ゆかり	事務長
	後藤 昭博	教務主任
	水谷健太郎	生徒指導主事
	川添 栄二	進路支援主事
	小池 勉	工業部長
	丸山遼太郎	教務部：記録
- 5 校内見学
仰星祭 各科・クラス等出し物見学
- 6 本校度の取り組みについて
学校の各担当より説明
- 7 会議の概要（協議事項）
 - (1) 会長・副会長の選出
第1回学校運営協議会が書面開催であったため、改めて本会議会長・副会長を選出した。会長に本校同窓会長 早川智晴氏、副会長に本校育友会長 西尾勇人氏を推挙し、賛成多数で承認された。

(2) スクール・ミッションの策定について

第1回学校運営協議会でいただいたご意見を提示した。特に反対意見もなく、本校スクール・ミッション（案）として、県教育委員会へ提出することへの承認をいただいた。

(3) 外部から見た中津川工業高等学校の評価について

意見1：行事の参観などを通して、伝統を感じた。その伝統を継承した卒業生の活躍が、在校生の求人にもつながっている。

意見2：活気がある。教えあいの姿などが見られて非常に良かった。

意見3：現状の少子化の流れを踏まえて、将来的な展望を持ち、統廃合などを含めた今後についての検討をするのは今からでも遅くない。

意見4：保護者はよい就職先に進むためには大学進学が重要だと考えがちであるが、必ずしもそうではない。中津川工業高校を卒業してからのほうが、よりよい進路を選択できる可能性もあるため、そのような側面をアピールすべき。

意見5：指定校で企業に就職してからの態度などに問題がある場合がある。働くことに関する意識づけをしてほしい。

(4) 学校の今後の取組について

上記の意見を受けて、学校長より補足説明を行った。

「少子化に伴い、募集定員の8割程度の出願しか得られていない中で、進学を希望する生徒も増加しており、本校としても危機感を抱いている。そういった状況を踏まえて、学校評価アンケートなどをもとに、進路状況や教職員の熱意など本校のよさを見出して、積極的にアピールしていく。」

8 会議のまとめ

学校運営協議会として今年度初めての対面形式での開催となった。会長と副会長の選出を行い、スクール・ミッションの策定、各分掌からの今年度の動向と今後の課題や取り組みについての共有を行った。その中で、地元の工業高校として、伝統を重んじ、地元産業のなかで活躍する人材を育成することが求められているということを確認した。